

患者調査における総患者数推計の応用

—総患者率の応用に関する検討—

研究代表者	橋本 修二	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座教授
研究協力者	川戸 美由紀	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座講師
	山田 宏哉	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座講師
	三重野牧子	自治医科大学情報センター医学情報学准教授

研究要旨 患者調査における総患者数の新しい推計方法の応用として、総患者率（＝総患者数／人口）による傷病の特性把握と疾病分類表の評価を行うことを目的とした。2年計画の初年度として、1996～2014年の患者調査を統計法第33条による調査票情報の提供を受けて利用し、必要なすべての集計を行った。集計結果の一部の解析によって、傷病の特性把握を開始し、年齢調整した総患者率の年次推移および総患者の平均年齢が傷病によって大きく異なることを観察した。以上より、当初の研究計画の通り、次年度の本格的な解析と評価に向けて、研究の準備を完了した。

A. 研究目的

平成 27・28 年度の厚生労働科学研究費補助金による「患者調査に基づく受療状況の解析と総患者数の推計に関する研究班」（前研究班）の研究成果として、総患者数の推計方法の見直しが提言された。新規方法によって、現行方法による総患者数の過小評価が大幅に改善されると期待される。一方、総患者数推計値の大きな変化による影響を考慮すると、総患者数の新規方法について妥当性の検証とともに、その応用の検討が重要である。

本研究の目的としては、患者調査における新規方法による総患者数推計の応用として、総患者率（＝総患者数／人口）による傷病の特性把握と疾病分類表の評価を行うことである。傷病の特性としては、年次推移、年齢分布と地域分布を検討対象とする。受療率（＝推計患者数／人口）との特性の違いも検討に含める。疾病分類表としては、傷病の基本分類を基礎とし、大分類、中分類、小分類を検討対象とする。

本年度は 2 年計画の初年度として、検討に必要なすべての集計を行うとともに、一部の集計結果の解析によって、傷病の特性把握を開始し

た。ここでは、用語として「総患者率」を用いる（用語の検討は次年度に実施予定）。

B. 研究方法

1. 総患者数の推計方法

現行方法では、総患者数は下式で与えられる。

$$\text{（総患者数）} = \text{（入院患者数）} + \text{（初診外来患者数）} + \text{（再来外来患者数）} \times \text{（平均診療間隔）} \times 6/7$$

ここで、入院患者数、初診外来患者数、再来外来患者数は調査日の一日患者数であり、患者調査から直接に得られる。平均診療間隔は再来外来患者の前回診療日から調査日までの間隔（診療間隔）の平均であり、極端に長い診療間隔

（継続的に医療を受けていないとみる）の患者を除くため、その算定対象は 30 日以下に限定される。6/7 は週間診療日数の調整係数である。

新規方法について、現行方法との違いは平均診療間隔の算定対象を 30 日以下から、13 週以下（91 日以下）へ拡大することである。この点を除くと、両方法は同一である。

2. 基礎資料と検討方法

基礎資料としては、1996～2014年の患者調査を統計法第33条による調査票情報の提供

(厚生労働省発統0724第1号、平成29年7月24日)を受けて利用した。新規方法によって、患者調査の情報をを用いて、年次ごとに、傷病・性・年齢階級、都道府県別の総患者数の推計値を算定した。傷病としては、基本分類、大分類、中分類、小分類とした。全傷病は総患者数の推計対象でないが、傷病全体の傾向をみるために検討に含めた。年齢階級は0～4歳、5～9歳、・・・、85歳以上とした。

傷病の特性の中で、年次推移の解析として、傷病大分類ごとに、2005・2008・2011・2014年の年次別、調整した総患者率を算定した。人口には推計人口と国勢調査人口を、基準人口には昭和60年モデル人口を用いた。

年齢分布の解析として、年齢階級別の総患者率、および、傷病大分類ごとに、年次別、調整した総患者の平均年齢を算定した。調整した総患者の平均年齢は、 $\sum w_i c_i P_i / \sum c_i P_i$ で求めた。ここで、 i は年齢階級、 w_i は年齢階級の中央年齢、 c_i は基準人口、 P_i は総患者率であり、 Σ は i で和を取ることを表す。

なお、地域分布の解析、および、疾病分類表の評価については、次年度に検討する。

(倫理面への配慮)

本研究では、連結不可能匿名化された既存の統計資料のみを用いるため、個人情報保護に係る問題は生じない。

C. 研究結果

1. 総患者率の年次推移

図1に男性、図2に女性について、年次別の調整した総患者率(新規方法による)と受療率を示す。2005年を1とする比を用いた。調整した総患者率は上昇傾向であり、2014年では男性が2005年の1.22倍、女性が1.18倍であった。一方、調整した受療率はほぼ一定または低下傾向であり、総患者率の年次推移と全く異

なる傾向であった。

表1-1と表1-2に男性、表2-1と表2-2に女性について、傷病大分類ごと、年次別の調整した総患者率(新規方法による)を示す。調整した総患者率(人口10万対)は傷病によって大きく異なった。2014年の調整した総患者率が100万以上は悪性新生物、糖尿病、高血圧性疾患などであった。

調整した総患者率の2014年/2005年の比は1以上の傷病が多く、たとえば、悪性新生物が男性1.16倍と女性1.32倍、糖尿病が男性1.31倍と女性1.20倍、高血圧性疾患が男性1.35倍と女性1.13倍などであった。1未満の傷病としては、結核が男性0.54倍と女性0.52倍、胃の悪性新生物が男性0.94倍と女性0.82倍、脳血管疾患が男性0.87倍と女性0.82倍などであった。

2. 総患者の年齢分布

図3に男性、図4に女性について、2014年の年齢階級別の総患者率(新規方法による)と受療率を示す。縦軸に対数目盛を用いた。年齢階級別の総患者率をみると、0～4歳から15～19歳まで低下、その後、75～79歳まで直線的に増加し、80歳以上ではほぼ一定または若干の低下であった。この年齢分布の傾向は受療率のそれと比較的類似していた。

表3-1と表3-2に男性、表4-1と表4-2に女性について、傷病大分類ごと、年次別の調整した総患者(新規方法による)の平均年齢を示す。調整した総患者の平均年齢は傷病によって大きく異なった。2014年の調整した総患者の平均年齢は全傷病が男性48.9歳と女性47.6歳、悪性新生物が男性67.8歳と女性58.8歳、糖尿病が男性62.3歳と女性62.9歳、高血圧性疾患が男性64.5歳と女性66.7歳、脳血管疾患が男性69.2歳と女性68.8歳、「糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全」が男性55.3歳と女性53.3歳などであった。

調整した総患者の平均年齢の2014年と2005年の差は、傷病によって大きく異なった。全傷

病が男性-0.40年と女性-1.01年、悪性新生物が男性0.93年と女性0.51年、糖尿病が男性0.83年と女性-0.13年、高血圧性疾患が男性0.19年と女性0.56年、脳血管疾患が男性0.75年と女性-0.49年、「糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全」が男性2.39年と女性2.11歳などであった。

D. 考察

患者調査における総患者数は患者数の指標として最も代表的である。医療施設からの受療患者情報を基礎資料とし、傷病の正確性に大きな課題はない。一方、調査日に受療していない患者が含まれないため、受療患者の診療間隔からその患者数を推計している。この推計において、前研究班によって、患者調査に基づく最近の診療状況の詳しい解析結果に基づいて、現行方法から新規方法への変更（平均診療間隔の算定対象を現行の30日以下から13週以下へ拡大）が提言された。患者数の指標としてみると、現行方法は以前に妥当であったと考えられるが、最近の診療状況や薬剤処方状況から実際的でなく、新規方法の利用が適切と考えられる。

総患者数の応用として、傷病別に、新規方法による調整した総患者率の年次推移を検討した。調整した総患者率は、多くの傷病で年次とともに上昇傾向であった。糖尿病や高脂血症で上昇程度が大きく、一方、結核やウイルス肝炎で減少傾向がみられた。これらの傷病の動向は他の情報と符合していると考えられる。全傷病において、調整した総患者率は2014年/2005年の比が1.2倍程度であり、調整した受療率の年次推移の横ばいあるいは低下傾向と著しく異なった。最近の診療間隔の大幅な延長によって、一日患者数と総患者数の動向に大きな乖離が生じており、患者数の動向把握における総患者数の応用の有用性が高まっていると示唆される。

総患者率の年次推移以外の応用として、総患者の年齢分布を解析した。傷病大分類ごと、年次別の調整した総患者の平均年齢をみると、傷病によって大きく異なり、また、その年次推移にも違いが見られた。今後、傷病の特性把握として、年齢分布とともに、地域分布を解析することが重要であろう。

E. 結論

2年計画の初年度として、基礎資料の利用、および、傷病の特性把握および疾病分類表の評価について、必要な総患者数と推計患者数の集計を行った。傷病の特性として、総患者率の年次推移と総患者の年齢分布を解析した。当初の研究計画の通り、次年度の本格的な解析と評価に向けて、研究の準備を完了した。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし。
2. 学会発表
なし。

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
なし。

図1. 年次別、調整した総患者率と受療率：男性
比（2005年を1）

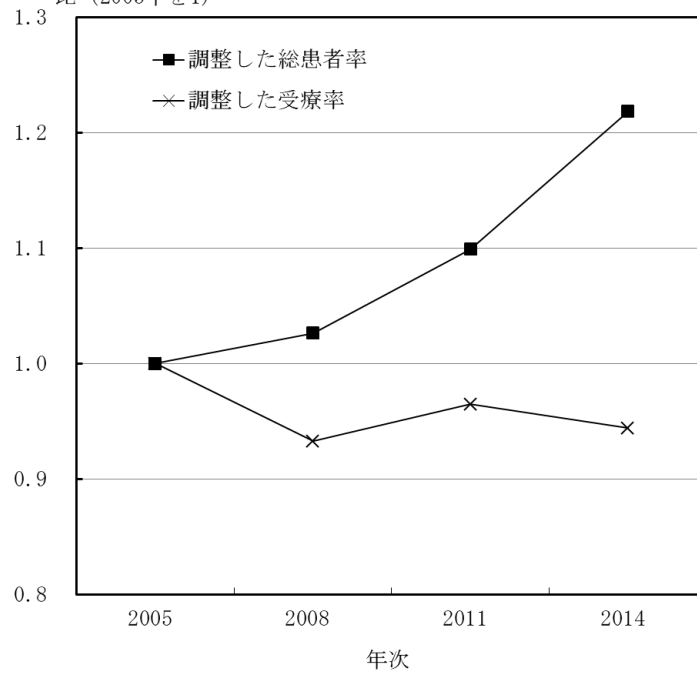


図2. 年次別、調整した総患者率と受療率：女性
比（2005年を1）

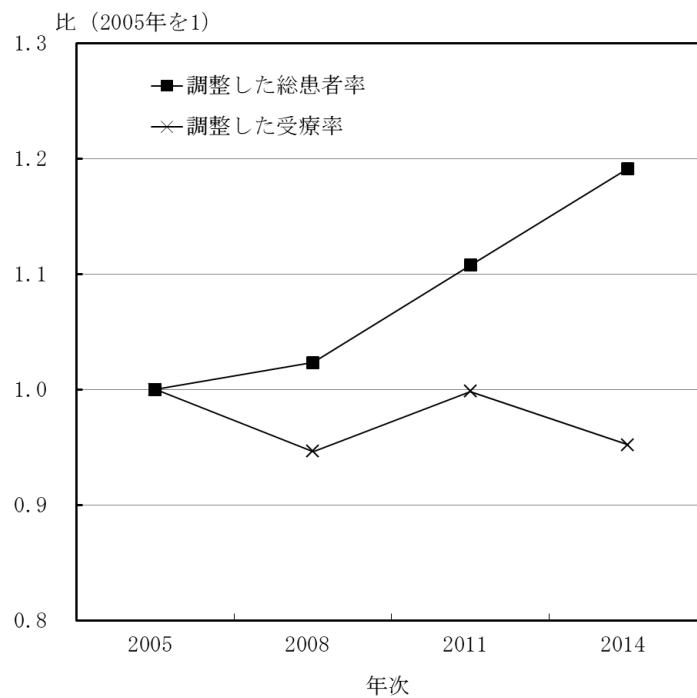


図 3. 年齢階級別、総患者率と受療率：2014 年、男性

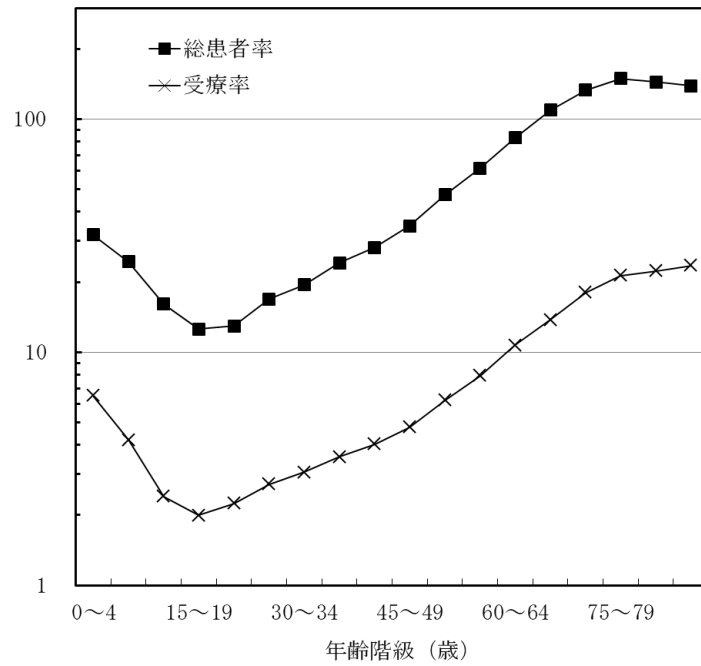


図 4. 年齢階級別、総患者率と受療率：2014 年、女性

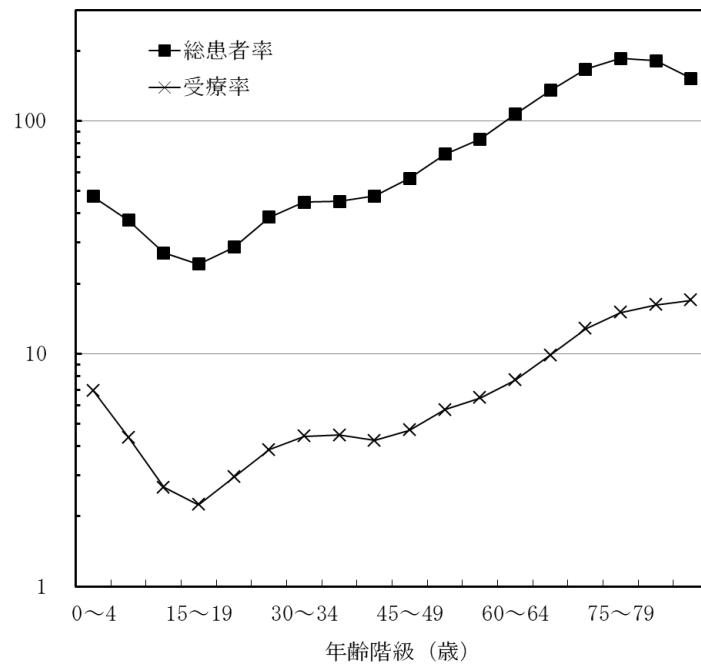


表 1-1. 年次別、調整した総患者率：男性、傷病大分類（前半）

傷病大分類	調整した総患者率（人口10万対）				調整した 総患者率の 2014年/2005 年の比
	2005年	2008年	2011年	2014年	
全傷病 [#]	40,952.5	42,024.5	45,000.3	49,895.3	1.22
I 感染症及び寄生虫症	1,295.8	1,212.7	1,092.9	1,222.8	0.94
腸管感染症	126.1	116.1	119.3	121.7	0.97
結核	40.4	30.0	26.3	21.7	0.54
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	246.6	263.9	318.8	434.0	1.76
真菌症	380.6	360.4	274.6	297.1	0.78
その他の感染症及び寄生虫症	503.6	445.7	352.6	352.8	0.70
II 新生物	1,620.2	1,707.9	1,688.7	1,763.6	1.09
（悪性新生物）（再掲）	1,297.3	1,436.4	1,430.5	1,501.7	1.16
胃の悪性新生物	212.0	235.8	199.8	200.0	0.94
結腸及び直腸の悪性新生物	184.2	223.3	217.6	252.2	1.37
気管、気管支及び肺の悪性新生物	122.1	129.6	131.8	133.3	1.09
その他の悪性新生物	779.1	849.0	881.2	918.6	1.18
良性新生物及びその他の新生物	323.3	271.9	258.8	261.8	0.81
III 血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	108.8	149.0	138.1	129.9	1.19
貧血	61.1	82.0	70.5	60.9	1.00
その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	47.6	67.6	66.8	69.5	1.46
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	3,477.6	3,613.0	4,255.7	4,812.3	1.38
甲状腺障害	124.9	169.8	174.0	218.6	1.75
糖尿病	2,247.1	2,328.1	2,610.5	2,954.5	1.31
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1,105.6	1,117.4	1,471.4	1,645.3	1.49
V 精神及び行動の障害	2,108.9	2,336.5	2,416.9	2,879.3	1.37
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	636.3	672.2	649.9	654.7	1.03
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	626.0	725.8	697.3	791.2	1.26
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	445.4	460.5	501.7	564.7	1.27
その他の精神及び行動の障害	402.1	484.0	572.8	876.7	2.18
VI 神経系の疾患	1,259.2	1,241.6	1,397.3	1,736.3	1.38
VII 眼及び付属器の疾患	2,704.5	2,494.1	2,770.9	3,270.3	1.21
白内障	713.1	558.5	564.3	540.2	0.76
その他の眼及び付属器の疾患	1,991.4	1,933.3	2,207.9	2,733.2	1.37
VIII 耳及び乳様突起の疾患	470.6	576.2	562.3	543.8	1.16
外耳疾患	65.3	59.6	77.9	110.2	1.69
中耳炎	248.3	347.3	274.2	243.9	0.98
その他の中耳及び乳様突起の疾患	33.5	41.8	43.2	42.3	1.26
内耳疾患	35.6	45.8	49.4	44.8	1.26
その他の耳疾患	87.6	82.7	120.7	106.0	1.21
IX 循環器系の疾患	7,135.7	7,634.8	8,190.9	8,786.3	1.23
高血圧性疾患	4,498.0	4,876.4	5,476.5	6,081.6	1.35
（心疾患（高血圧性のものを除く） （再掲））	1,377.5	1,475.9	1,513.2	1,535.2	1.11
虚血性心疾患	742.4	827.5	769.7	781.6	1.05
その他の心疾患	634.9	648.8	742.8	753.5	1.19
（脳血管疾患）（再掲）	971.7	964.6	917.4	841.7	0.87
脳梗塞	726.9	685.5	655.1	577.1	0.79
その他の脳血管疾患	244.8	279.1	262.2	264.8	1.08
その他の循環器系の疾患	288.0	319.4	284.4	330.0	1.15

[#]：全傷病の総患者数は参考（推計の対象外）。

表 1-2. 年次別、調整した総患者率：男性、傷病大分類（後半）

傷病大分類	調整した総患者率（人口10万対）				調整した 総患者率の 2014年/2005 年の比
	2005年	2008年	2011年	2014年	
X 呼吸器系の疾患	4,328.1	3,853.9	4,613.7	4,879.9	1.13
急性上気道感染症	992.7	914.4	991.6	1,100.5	1.11
肺炎	60.3	49.9	60.6	43.3	0.72
急性気管支炎及び急性細気管支炎	398.8	330.1	481.7	425.2	1.07
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	271.9	233.9	245.6	278.2	1.02
喘息	1,546.7	1,211.7	1,626.0	1,606.8	1.04
その他の呼吸器系の疾患	1,053.7	1,107.4	1,207.7	1,414.3	1.34
X I 消化器系の疾患	6,998.5	7,074.7	7,370.1	8,091.0	1.16
う蝕	1,614.5	1,677.2	1,858.2	1,653.9	1.02
歯肉炎及び歯周疾患	1,754.8	2,013.8	2,183.5	2,804.6	1.60
その他の歯及び歯の支持組織の障害	1,519.6	1,390.3	1,395.4	1,486.6	0.98
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	628.4	535.2	409.3	286.0	0.46
胃炎及び十二指腸炎	414.7	318.2	336.0	474.0	1.14
肝疾患	315.3	243.5	268.1	264.7	0.84
その他の消化器系の疾患	769.9	917.4	943.7	1,206.2	1.57
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2,091.3	2,074.9	2,179.1	2,964.1	1.42
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	2,544.3	2,677.5	2,722.8	2,741.8	1.08
炎症性多発性関節障害	463.2	429.2	433.0	433.2	0.94
脊柱障害	1,290.9	1,357.9	1,365.0	1,409.5	1.09
骨の密度及び構造の障害	37.9	43.3	41.8	47.3	1.25
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	754.2	849.6	888.8	856.5	1.14
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1,402.8	1,423.1	1,309.7	1,631.7	1.16
糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患 及び腎不全	347.8	413.4	376.9	395.8	1.14
乳房及び女性生殖器の疾患	5.8	2.7	5.6	5.1	0.88
その他の腎尿路生殖器系の疾患	1,061.8	1,026.8	947.8	1,328.3	1.25
X V 妊娠、分娩及び産じょく	0.0	0.0	0.0	0.0	-
流産	0.0	0.0	0.0	0.0	-
妊娠高血圧症候群	0.0	0.0	0.0	0.0	-
単胎自然分娩	0.0	0.0	0.0	0.0	-
その他の妊娠、分娩及び産じょく	0.0	0.0	0.0	0.0	-
X VI 周産期に発生した病態	44.4	57.8	60.3	72.0	1.62
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	183.8	216.5	227.7	269.8	1.47
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	374.1	506.0	446.9	449.6	1.20
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,111.5	1,153.4	1,257.6	1,290.6	1.16
骨折	364.8	385.4	409.0	433.1	1.19
その他の損傷、中毒及びその他の 外因の影響	746.8	768.8	848.9	858.1	1.15
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	1,920.3	2,284.6	2,728.2	2,950.8	1.54
正常妊娠・産じょくの管理	0.0	0.0	0.0	0.0	-
歯の補てつ	941.9	1,145.7	1,082.5	1,123.4	1.19
その他の保健サービス	1,004.9	1,159.2	1,733.7	1,906.3	1.90

表 2-1. 年次別、調整した総患者率：女性、傷病大分類（前半）

傷病大分類	調整した総患者率（人口10万対）				調整した 総患者率の 2014年/2005 年の比
	2005年	2008年	2011年	2014年	
全傷病 [#]	50,314.6	51,484.4	55,721.2	59,934.4	1.19
I 感染症及び寄生虫症	1,390.3	1,327.3	1,192.1	1,377.5	0.99
腸管感染症	124.5	133.6	114.6	104.3	0.84
結核	31.4	20.0	18.6	16.3	0.52
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	315.8	307.6	354.6	573.4	1.82
真菌症	514.6	466.4	370.8	344.6	0.67
その他の感染症及び寄生虫症	404.0	403.4	333.7	341.7	0.85
II 新生物	1,836.5	2,007.0	2,191.6	2,346.0	1.28
（悪性新生物）（再掲）	1,069.6	1,233.0	1,321.0	1,410.5	1.32
胃の悪性新生物	99.9	99.3	93.5	81.8	0.82
結腸及び直腸の悪性新生物	130.1	139.8	142.8	161.5	1.24
気管、気管支及び肺の悪性新生物	59.9	70.3	62.9	77.4	1.29
その他の悪性新生物	780.1	924.1	1,022.4	1,090.9	1.40
良性新生物及びその他の新生物	768.2	774.2	873.3	936.3	1.22
III 血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	381.8	348.8	361.1	374.1	0.98
貧血	291.5	264.3	270.5	278.9	0.96
その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	90.8	85.3	90.7	96.1	1.06
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	3,880.3	3,903.4	4,697.6	5,357.1	1.38
甲状腺障害	533.3	636.8	731.4	1,044.5	1.96
糖尿病	1,543.8	1,491.4	1,688.2	1,846.6	1.20
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1,806.3	1,782.4	2,285.0	2,485.1	1.38
V 精神及び行動の障害	2,593.0	2,849.5	2,690.6	3,257.0	1.26
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	651.4	697.4	614.1	699.9	1.07
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	951.6	1,099.9	992.1	1,181.3	1.24
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	722.9	778.0	760.1	917.0	1.27
その他の精神及び行動の障害	269.2	277.3	328.1	464.6	1.73
VI 神経系の疾患	1,483.6	1,346.7	1,501.4	1,925.8	1.30
VII 眼及び付属器の疾患	4,687.1	4,097.8	4,421.6	5,310.5	1.13
白内障	1,342.4	924.2	1,001.8	784.6	0.58
その他の眼及び付属器の疾患	3,344.7	3,173.1	3,420.9	4,526.8	1.35
VIII 耳及び乳様突起の疾患	554.6	683.6	694.6	663.8	1.20
外耳疾患	93.5	77.2	78.6	90.3	0.97
中耳炎	221.8	321.7	265.2	261.8	1.18
その他の中耳及び乳様突起の疾患	47.3	40.9	45.5	35.6	0.75
内耳疾患	80.6	97.4	147.9	130.3	1.62
その他の耳疾患	112.5	145.6	157.1	150.0	1.33
IX 循環器系の疾患	6,813.7	6,731.4	7,303.9	7,257.8	1.07
高血圧性疾患	4,999.0	4,940.3	5,578.4	5,658.6	1.13
（心疾患（高血圧性のものを除く） （再掲））	861.6	811.7	777.8	768.9	0.89
虚血性心疾患	416.0	393.1	320.5	315.0	0.76
その他の心疾患	445.5	418.9	457.7	454.5	1.02
（脳血管疾患）（再掲）	679.6	683.2	613.4	557.9	0.82
脳梗塞	481.8	438.3	412.3	368.8	0.77
その他の脳血管疾患	197.7	245.1	200.5	188.8	0.96
その他の循環器系の疾患	274.5	295.1	335.4	271.3	0.99

[#]：全傷病の総患者数は参考（推計の対象外）。

表 2-2. 年次別、調整した総患者率：女性、傷病大分類（後半）

傷病大分類	調整した総患者率（人口10万対）				調整した 総患者率の 2014年/2005 年の比
	2005年	2008年	2011年	2014年	
X 呼吸器系の疾患	4,257.6	4,020.4	4,640.0	5,200.7	1.22
急性上気道感染症	1,190.3	1,139.7	1,245.1	1,308.4	1.10
肺炎	39.7	52.9	48.0	36.2	0.91
急性気管支炎及び急性細気管支炎	473.4	397.5	519.5	440.0	0.93
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	170.3	152.9	154.1	156.1	0.92
喘息	1,342.3	1,173.9	1,447.8	1,760.9	1.31
その他の呼吸器系の疾患	1,035.3	1,107.3	1,213.2	1,488.6	1.44
X I 消化器系の疾患	8,568.7	9,034.7	9,447.3	9,768.4	1.14
う蝕	2,127.9	1,998.0	2,370.2	2,061.9	0.97
歯肉炎及び歯周疾患	2,404.6	2,988.6	3,140.7	3,480.4	1.45
その他の歯及び歯の支持組織の障害	1,806.4	1,817.0	1,771.8	1,705.9	0.94
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	450.0	399.9	309.0	265.5	0.59
胃炎及び十二指腸炎	643.0	596.1	539.1	791.6	1.23
肝疾患	224.6	206.8	214.3	203.2	0.90
その他の消化器系の疾患	934.9	1,061.4	1,141.9	1,355.9	1.45
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2,705.9	2,504.5	2,788.1	3,441.6	1.27
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,106.9	4,381.9	4,576.9	4,390.1	1.07
炎症性多発性関節障害	457.0	478.5	513.3	525.2	1.15
脊柱障害	1,586.4	1,628.1	1,704.9	1,676.1	1.06
骨の密度及び構造の障害	468.0	502.1	470.6	504.1	1.08
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,599.2	1,769.4	1,888.0	1,684.2	1.05
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1,651.4	1,876.0	1,912.5	2,378.9	1.44
糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患 及び腎不全	270.3	287.6	263.9	241.9	0.89
乳房及び女性生殖器の疾患	1,088.7	1,326.5	1,411.9	1,815.2	1.67
その他の腎尿路生殖器系の疾患	305.0	285.5	266.1	340.5	1.12
X V 妊娠、分娩及び産じょく	261.9	317.4	271.1	314.3	1.20
流産	25.2	29.8	27.8	28.0	1.11
妊娠高血圧症候群	4.9	6.0	3.7	5.5	1.12
単胎自然分娩	34.8	29.3	41.4	29.7	0.85
その他の妊娠、分娩及び産じょく	196.8	254.3	198.1	250.9	1.27
X VI 周産期に発生した病態	48.8	52.6	65.9	70.3	1.44
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	196.5	237.1	226.1	287.8	1.46
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	537.8	621.5	638.3	588.0	1.09
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	892.2	991.8	1,071.5	1,134.1	1.27
骨折	320.6	361.9	389.3	407.3	1.27
その他の損傷、中毒及びその他の 外因の影響	571.8	629.4	682.1	725.8	1.27
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	3,863.8	4,626.0	5,728.2	5,460.0	1.41
正常妊娠・産じょくの管理	787.9	879.0	892.5	993.1	1.26
歯の補てつ	1,142.2	1,424.5	1,574.1	1,399.9	1.23
その他の保健サービス	1,990.4	2,381.0	3,426.7	3,208.3	1.61

表 3-1. 年次別、調整した総患者の平均年齢：男性、傷病大分類（前半）

傷病大分類	調整した総患者の平均年齢（歳）				調整した総患者の平均年齢の2014年と2005年の差
	2005年	2008年	2011年	2014年	
全傷病 [#]	49.3	49.7	48.9	48.9	-0.40
I 感染症及び寄生虫症	46.0	45.0	41.3	40.1	-5.99
腸管感染症	24.9	21.1	23.0	23.4	-1.49
結核	51.3	55.1	52.6	52.8	1.56
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	27.6	27.3	27.9	25.8	-1.86
真菌症	55.4	57.4	56.0	55.7	0.31
その他の感染症及び寄生虫症	53.0	51.0	47.5	49.7	-3.39
II 新生物	64.5	64.7	64.7	65.5	0.92
（悪性新生物）（再掲）	66.9	67.3	67.5	67.8	0.93
胃の悪性新生物	67.9	68.0	69.0	69.1	1.26
結腸及び直腸の悪性新生物	66.3	67.4	67.3	67.7	1.36
気管、気管支及び肺の悪性新生物	67.5	68.2	68.6	68.4	0.93
その他の悪性新生物	66.7	66.9	67.1	67.5	0.80
良性新生物及びその他の新生物	54.9	51.2	49.4	51.7	-3.24
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	49.5	38.9	42.0	46.1	-3.47
貧血	51.1	35.4	42.0	47.0	-4.09
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	47.6	42.9	41.9	45.2	-2.38
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	59.0	59.0	58.8	58.6	-0.48
甲状腺障害	51.6	49.9	49.4	45.2	-6.40
糖尿病	61.5	61.7	61.8	62.3	0.83
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	54.9	54.6	54.4	53.6	-1.34
V 精神及び行動の障害	42.5	42.3	41.3	39.7	-2.77
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	44.4	45.6	45.2	46.3	1.95
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	45.5	47.1	47.3	46.8	1.34
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	42.7	44.1	42.5	43.6	0.92
その他の精神及び行動の障害	34.7	28.7	28.6	26.0	-8.75
VI 神経系の疾患	46.2	47.7	49.0	47.7	1.49
VII 眼及び付属器の疾患	53.1	52.3	51.5	52.6	-0.49
白内障	72.9	72.6	72.8	72.5	-0.40
その他の眼及び付属器の疾患	46.0	46.5	46.1	48.7	2.65
VIII 耳及び乳様突起の疾患	34.0	33.5	34.3	32.9	-1.07
外耳疾患	32.9	40.8	32.9	29.1	-3.82
中耳炎	21.7	22.0	21.1	20.3	-1.39
その他の中耳及び乳様突起の疾患	50.2	52.0	43.3	39.6	-10.64
内耳疾患	58.2	57.4	58.7	56.4	-1.83
その他の耳疾患	53.1	54.1	51.4	53.0	-0.09
IX 循環器系の疾患	65.1	64.9	65.2	65.2	0.06
高血圧性疾患	64.4	64.1	64.6	64.5	0.19
（心疾患（高血圧性のものを除く）（再掲））	65.9	65.9	66.0	66.4	0.41
虚血性心疾患	67.5	67.3	67.4	67.5	0.01
その他の心疾患	64.1	64.0	64.7	65.1	1.00
（脳血管疾患）（再掲）	68.5	68.9	68.8	69.2	0.75
脳梗塞	70.4	70.3	71.0	70.9	0.53
その他の脳血管疾患	62.9	65.5	63.4	65.6	2.71
その他の循環器系の疾患	61.0	60.1	60.9	60.4	-0.65

[#]：全傷病の総患者数は参考（推計の対象外）。

表 3-2. 年次別、調整した総患者の平均年齢：男性、傷病大分類（後半）

傷病大分類	調整した総患者の平均年齢（歳）				調整した総患者の平均年齢の2014年と2005年の差
	2005年	2008年	2011年	2014年	
X 呼吸器系の疾患	26.4	26.5	24.4	24.9	-1.52
急性上気道感染症	18.8	18.2	17.6	16.3	-2.47
肺炎	51.4	53.0	43.0	50.8	-0.65
急性気管支炎及び急性細気管支炎	19.6	19.3	16.0	16.0	-3.61
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	53.7	56.0	56.5	58.4	4.63
喘息	22.6	23.6	21.1	22.6	-0.05
その他の呼吸器系の疾患	33.4	31.2	30.3	29.6	-3.72
X I 消化器系の疾患	44.5	45.3	45.1	46.4	1.93
う蝕	28.6	28.4	30.1	32.4	3.78
歯肉炎及び歯周疾患	48.7	50.3	49.2	49.4	0.71
その他の歯及び歯の支持組織の障害	38.9	41.5	44.0	44.2	5.21
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	58.7	59.4	58.6	59.6	0.86
胃炎及び十二指腸炎	59.5	60.0	59.8	57.7	-1.78
肝疾患	56.5	56.4	58.1	57.5	1.03
その他の消化器系の疾患	54.5	54.7	51.7	51.2	-3.31
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	35.5	36.2	35.6	35.0	-0.44
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	59.0	59.0	58.5	59.0	-0.03
炎症性多発性関節障害	55.2	56.3	55.0	56.4	1.13
脊柱障害	61.0	60.4	60.3	61.2	0.19
骨の密度及び構造の障害	66.5	66.5	61.7	65.1	-1.31
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	57.5	57.7	57.3	56.2	-1.29
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	61.2	61.8	63.4	61.4	0.18
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全	52.9	54.8	55.7	55.3	2.39
乳房及び女性生殖器の疾患	49.5	56.4	66.0	60.1	10.62
その他の腎尿路生殖器系の疾患	63.9	64.8	66.4	63.0	-0.90
X V 妊娠、分娩及び産じょく	-	-	-	-	-
流産	-	-	-	-	-
妊娠高血圧症候群	-	-	-	-	-
単胎自然分娩	-	-	-	-	-
その他の妊娠、分娩及び産じょく	-	-	-	-	-
X VI 周産期に発生した病態	2.5	2.5	2.8	2.9	0.40
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	14.3	14.1	15.1	16.1	1.81
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	44.0	44.4	42.3	43.7	-0.30
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	37.4	37.2	36.3	36.4	-1.00
骨折	39.5	38.9	39.1	39.0	-0.54
その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	36.4	36.4	34.9	35.1	-1.29
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	42.3	42.4	39.1	38.1	-4.19
正常妊娠・産じょくの管理	-	-	-	-	-
歯の補てつ	56.7	56.6	58.0	58.4	1.78
その他の保健サービス	28.9	28.3	27.2	26.3	-2.62

表 4-1. 年次別、調整した総患者の平均年齢：女性、傷病大分類（前半）

傷病大分類	調整した総患者の平均年齢（歳）				調整した総患者の平均年齢 の2014年と 2005年の差
	2005年	2008年	2011年	2014年	
全傷病 [#]	48.7	48.2	48.2	47.6	-1.01
I 感染症及び寄生虫症	44.8	44.0	41.0	39.1	-5.76
腸管感染症	28.4	30.0	25.6	27.9	-0.58
結核	48.3	52.8	49.4	49.7	1.39
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	31.8	30.0	30.0	27.7	-4.11
真菌症	50.1	50.8	49.4	50.4	0.25
その他の感染症及び寄生虫症	53.1	51.3	48.6	49.9	-3.15
II 新生物	53.3	53.1	52.9	53.2	-0.06
（悪性新生物）（再掲）	58.3	58.5	58.9	58.8	0.51
胃の悪性新生物	63.6	65.3	64.2	65.9	2.35
結腸及び直腸の悪性新生物	64.1	65.2	65.0	65.1	1.00
気管、気管支及び肺の悪性新生物	64.9	65.9	67.1	65.6	0.73
その他の悪性新生物	56.1	56.2	57.1	56.8	0.71
良性新生物及びその他の新生物	46.2	44.5	43.7	44.7	-1.52
III 血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	43.6	40.7	41.4	42.8	-0.77
貧血	41.9	39.1	40.9	41.6	-0.30
その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	49.1	45.8	43.3	46.4	-2.71
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	59.5	58.2	59.4	58.0	-1.45
甲状腺障害	51.2	49.1	50.0	48.5	-2.76
糖尿病	63.0	62.6	63.0	62.9	-0.13
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	58.8	57.8	59.7	58.3	-0.53
V 精神及び行動の障害	45.4	45.2	44.6	44.1	-1.27
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	46.4	46.3	47.0	47.7	1.28
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	47.8	47.5	47.7	47.0	-0.74
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	43.6	43.6	43.0	43.7	0.14
その他の精神及び行動の障害	39.5	38.3	34.7	32.3	-7.19
VI 神経系の疾患	47.6	49.1	49.9	49.7	2.05
VII 眼及び付属器の疾患	53.1	51.1	52.5	49.8	-3.38
白内障	71.7	71.9	71.8	71.9	0.21
その他の眼及び付属器の疾患	45.7	45.0	46.8	45.9	0.24
VIII 耳及び乳様突起の疾患	42.3	37.3	42.3	36.6	-5.68
外耳疾患	35.1	33.7	35.6	34.5	-0.53
中耳炎	31.7	24.5	28.8	21.1	-10.54
その他の中耳及び乳様突起の疾患	52.5	53.4	57.4	42.4	-10.09
内耳疾患	58.3	56.5	54.4	55.9	-2.45
その他の耳疾患	53.6	50.0	51.9	46.2	-7.36
IX 循環器系の疾患	66.0	66.1	66.0	66.4	0.37
高血圧性疾患	66.1	66.2	66.4	66.7	0.56
（心疾患（高血圧性のものを除く） （再掲））	66.8	66.8	66.7	66.9	0.17
虚血性心疾患	69.7	69.5	69.3	69.0	-0.72
その他の心疾患	64.0	64.3	64.8	65.5	1.42
（脳血管疾患）（再掲）	69.3	69.1	69.2	68.8	-0.49
脳梗塞	71.4	71.9	72.0	70.8	-0.61
その他の脳血管疾患	64.1	64.0	63.6	64.9	0.83
その他の循環器系の疾患	54.0	54.9	51.4	54.3	0.33

[#]：全傷病の総患者数は参考（推計の対象外）。

表 4-2. 年次別、調整した総患者の平均年齢：女性、傷病大分類（後半）

傷病大分類	調整した総患者の平均年齢（歳）				調整した総患者の平均年齢の2014年と2005年の差
	2005年	2008年	2011年	2014年	
X 呼吸器系の疾患	28.6	28.9	27.7	28.0	-0.67
急性上気道感染症	22.8	23.0	22.7	21.7	-1.10
肺炎	41.0	40.4	37.1	42.6	1.59
急性気管支炎及び急性細気管支炎	23.8	21.9	18.2	19.8	-4.09
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	40.6	41.5	44.6	43.1	2.52
喘息	28.2	29.2	27.5	29.5	1.38
その他の呼吸器系の疾患	35.6	34.7	34.5	32.0	-3.65
X I 消化器系の疾患	44.9	43.9	44.6	46.0	1.17
う蝕	31.5	30.0	33.0	34.3	2.79
歯肉炎及び歯周疾患	48.7	47.5	48.8	49.6	0.90
その他の歯及び歯の支持組織の障害	42.4	40.9	42.4	43.2	0.88
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	58.1	57.3	57.0	57.6	-0.48
胃炎及び十二指腸炎	56.4	55.0	55.1	53.4	-2.98
肝疾患	57.5	57.8	57.9	57.6	0.06
その他の消化器系の疾患	52.8	50.8	50.0	49.8	-3.00
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	34.1	35.7	35.7	34.6	0.47
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	61.4	61.6	61.4	61.8	0.37
炎症性多発性関節障害	57.5	58.2	58.1	57.5	-0.06
脊柱障害	60.8	60.6	60.2	61.0	0.12
骨の密度及び構造の障害	70.9	70.6	70.9	70.3	-0.55
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	60.2	60.8	61.1	61.2	0.97
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	46.1	44.5	45.3	43.9	-2.16
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全	51.2	52.3	52.5	53.3	2.11
乳房及び女性生殖器の疾患	42.6	40.7	42.1	40.5	-2.07
その他の腎尿路生殖器系の疾患	54.6	55.7	56.8	56.0	1.45
X V 妊娠、分娩及び産じょく	30.5	30.8	31.4	31.5	0.99
流産	30.0	31.6	32.6	31.0	1.05
妊娠高血圧症候群	30.8	32.8	33.1	34.4	3.67
単胎自然分娩	30.7	32.7	31.8	32.0	1.36
その他の妊娠、分娩及び産じょく	30.5	30.6	31.0	31.4	0.89
X VI 周産期に発生した病態	2.5	2.5	3.0	2.9	0.44
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	19.2	17.0	17.3	17.0	-2.28
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	46.4	47.2	44.9	45.6	-0.82
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	44.4	44.3	43.8	42.6	-1.81
骨折	54.6	55.3	55.5	53.9	-0.72
その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	38.7	37.9	37.0	36.3	-2.42
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	36.6	37.3	36.5	35.8	-0.77
正常妊娠・産じょくの管理	29.7	30.3	30.4	30.8	1.08
歯の補てつ	55.7	55.4	55.6	55.8	0.09
その他の保健サービス	28.5	29.2	29.5	29.0	0.47